

備前市事務事業評価表

事務事業名	子育て支援事業		コード	03-01-01-06
事業実施期間			担当課・係	学校教育課
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり	担当者	重成育枝
	中項目(基本施策)	未来を支える人材を育むまちづくり	電話	64-1840
	小項目(施策)	幼稚園		

事業について	未就園の幼児の成長を支え、親子が楽しく生活できる子育てを支援するとともに、地域の教育力を高める。 幼稚園に就園する保育に欠ける幼児が、養護の下にくつろいだ雰囲気の中で、過ごすことができるよう支援する。
目的 (何のために)	
対象 (誰・何を対象に)	市内の未就園の親子 日生・吉永地区の保育に欠ける幼児
内容	幼稚園を開放し、幼稚園児と一緒に活動したり、親子のふれ合いの楽しさや親同士の悩みを話し合ったりする場を設定するための補助金を支給 家庭教育補完のため、預かり保育指導員を配置

実施項目	17年度		18年度		回数など (単位)
	回数	など (単位)	回数	など (単位)	
子育て広場合計実施回数	39	回	67	回	
子育て広場延べ参加人数	702	人	1,364	人	
預かり保育1日当たり平均利用人数	154	人	147	人	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	13,675	間接補助金等		直接事業費	9,482	間接補助金等		直接事業費		間接補助金等	
	人件費	2,280	受益者負担		人件費	950	受益者負担		人件費		受益者負担	
		市債				市債				市債		
合計	15,955	一般財源等	15,955	合計	10,432	一般財源等	10,432	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.10		人
結果指標名	子育て広場合計実施回数	子育て広場合計実施回数	
結果指標量	39	67	
単位	回	回	
対前年比	—	171.79%	0.00%
活動にかかるコスト	606,000	340,000	円
単位当たりコスト	15,538	5,075	円
結果指標名	預かり保育1日当たり平均利用人数	預かり保育1日当たり平均利用人数	
結果指標量	154	147	
単位	人	人	
対前年比	—	—	0.00%
活動にかかるコスト	15,349,000	10,092,000	円
単位当たりコスト	99,669	68,653	円

事業の成果	未就園の幼児の成長を支え、親子が楽しく生活できる子育てを支援するとともに、地域の教育力を高める。 幼稚園に就園する保育に欠ける幼児が、養護の下にくつろいだ雰囲気の中で、過ごすことができるよう支援する。		
成果指標名	子育て広場の1園あたりの実施回数(回)	式又は説明	実施回数/実施園
	17年度	18年度	
成果指標量	4	7	
対前年比	—	167.50%	0.00%
到達目標値	8	到達目標年度	平成21

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価	(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境から目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている
	妥当性評価 <A-E>	B
	課題認識	在園児及び未就園児の幼児の健やかな成長を促すことや保護者の子育てを支援する場として妥当な事業である。預かり保育は、地域の実情から実施する必要のある事業である。
効率性評価 <A-E>	C	
課題認識	子育て支援事業の補助金を一律に配分するのではなく、内容を精査して補助金を配分していく必要がある。預かり保育は、預かり保育の目的を周知し保護者に家庭教育の大切さの認識を高める必要がある。	
有効性評価 <A-E>	C	
課題認識	幼稚園が子育て支援する場所として認知されるよう、事業を推進していく必要がある。	

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 各幼稚園から提出された事業実施計画書と予算書を精査して補助金を支給している。 家庭教育補完のため、預かり保育指導員を配置している。
目標値	結果指標量 70	結果指標量 145	
	成果指標量 8		

総合評価	幼稚園が幼児教育の専門施設であるという本来の役割に加えて、地域の子育てを支援していくことが求められているので必要な事業である。 預かり保育については、保護者に目的を周知していく必要がある。	評価区分 <A-E> C
------	---	-----------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	預かり保育の目的を周知する。		21年度	保護者が幼児期の大切さの認識を持ち、預かり保育の選択を慎重にする。